

2019年12月13日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2019年12月13日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<http://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。12月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は、悪化した（D.I.：前回+11→足もと+7）。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱めの動きとなっている。設備投資は、製造業を中心に増加している。個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、このところ増加している。

こうした中で、生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。雇用情勢は、労働需給が引き締まった状態が続いている。

【前回との比較】

項目		前回	今回
景気判断		緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。	緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
	輸出	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	設備投資	製造業を中心に増加している。	製造業を中心に増加している。
	個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	<u>足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。</u>	<u>このところ増加している。</u>
生産		一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。	一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。
雇用		労働需給が引き締まった状態が続いている。	労働需給が引き締まった状態が続いている。

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

10月の公共工事請負金額をみると、国、県等の発注分が減少したことから、前年比マイナスとなった。

輸出は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、製造業を中心に増加している。

12月短観における19年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高は、化粧品が引き続き堅調なもの、宝飾品や日用品などで消費税率引き上げ後の反動がみられている。

乗用車新車登録台数（11月）は、前年を下回った。

住宅投資は、このところ増加している。

10月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年比プラスとなった。

3. 生産

生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	海外向けの一部が弱含んでいるものの、生産は高水準で推移している。
	電炉	建設向けを中心に、生産は高水準で推移している。
化学		生産は高水準で推移している。
セメント		生産は堅調に推移している。
住設機器		リフォーム向けを中心に、生産は高水準で推移している。
電気機械		半導体向けを中心に、生産水準は切り下がっている。
電子部品		生産は横ばい圏内で推移している。
自動車		生産は弱めの動きとなっている。

4. 雇用

雇用情勢は、労働需給が引き締まった状態が続いている。

10月の有効求人倍率は、1.41倍（前年比▲0.05ポイント）と、前年を下回った。

5. 物価

10月の消費者物価指数（北九州市の生鮮食品を除く総合ベース）は、前年比プラス（+1.3%）となった。

6. 企業倒産

11月の企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、件数は10件（前年同月8件）、負債総額は1,201百万円（同237百万円）となった。

7. 金融情勢

10月末の実質預金は、前年比3.3%増となった（前月同2.7%増）。貸出は、前年比2.4%増となった（前月同3.0%増）。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、1.121%となった（前月1.126%）。

以 上